

SSH 設定

この `ssh-config` ファイルは SSH クライアントの動作を設定します。各部分を分解してみましょう。

- `Host * !192.*.*.*`: このセクションは、`192.*.*.*` パターン（通常はローカルネットワークアドレス）に一致するホストを除くすべてのホストに適用されます。
 - `ProxyCommand corkscrew localhost 7890 %h %p`: これが重要な部分です。SSH に `corkscrew` プログラムを使用してターゲットホストに接続するように指示します。
 - * `corkscrew`: HTTP または HTTPS プロキシを介して SSH 接続をトンネリングできるツールです。
 - * `localhost 7890`: プロキシサーバーのアドレス (`localhost`) とポート (7890) を指定します。これは、ローカルマシンでポート 7890 (例: Shadowsocks、SOCKS プロキシ、またはその他のトンネリングソリューション) をリッスンしているプロキシサーバーが実行されていることを前提としています。
 - * `%h`: ターゲットホスト名に展開される特別な SSH 変数です。
 - * `%p`: ターゲットポート (通常は SSH の 22) に展開される別の SSH 変数です。
 - 要約すると、この `Host` ブロックは、ローカルネットワークへの接続を除くすべての接続に対して `corkscrew` プロキシを使用するように SSH を設定します。
- `Host *:` このセクションはすべてのホストに適用されます。
 - `UseKeychain yes`: macOS では、SSH キーをキーチェーンに保存および取得するように SSH に指示するため、毎回パスワードを入力する必要がありません。
 - `AddKeysToAgent yes`: これは、SSH キーを SSH エージェントに自動的に追加するため、再起動後に手動で追加する必要がありません。
 - `IdentityFile ~/.ssh/id_rsa`: プライベート SSH キーファイルへのパスを指定します。`~/.ssh/id_rsa` は RSA プライベートキーのデフォルトの場所です。

要するに、この設定は、ローカルネットワーク上の接続を除くすべての SSH 接続に対してプロキシを設定し、利便性のためにキー管理を設定します。

```
Host * !192.*.*.*  
  ProxyCommand corkscrew localhost 7890 %h %p  
Host *  
  UseKeychain yes  
  AddKeysToAgent yes  
  IdentityFile ~/.ssh/id_rsa
```